



JICA オンライン・セミナー

「多文化共生・日本社会を考える」 連続シリーズ第 16 回

「大学生が見た日本定住資料館」

—大泉町から見えてきた未来の多文化共生—

ご説明講師

小野 修一(おの しゅういち)氏

1953 年生まれ。大泉町にある有限会社小野労務経営管理事務所代表取締役。社会保険労務士として、外国人の労働問題、年金問題の相談も受ける。2017 年には日系ブラジルコミュニティを支援した日本人として、ブラジルのプレスアワードを受賞。2007 年より就任した大泉町観光協会 副会長として、日本定住資料館の運営協力に携わる。

ご案内

蛸原 愛菜(えびはら あいな)氏

名古屋外国語大学 3 年在学。任意団体 conNect を立ち上げ、愛知県瀬戸市で外国にルーツを持つ児童の学習支援を行っている。

山内 渚矢(やまうち なぎや)氏

静岡大学 3 年在学。国際交流・外国人支援団体を設立・運営し、またウクライナ人学生、避難民への支援も行っている。



こちらの QR コードからお申し込みください。ご質問などがあれば、電子メールで JICA 中南米部 計画・移住課 木田 (5rtpm@jica.go.jp) まで、

件名を「12月13日・多文化共生セミナーについて」としてお問い合わせください。

開催日時：

2022 年 12 月 13 日(火) 12:00~13:20

主催：JICA

参加費：無料

これまでブラジルタウンとして知られてきた群馬県大泉町。2018 年に開設された日本定住資料館では、デカセギで来日した日系人の方がどのように日本に、なぜ大泉町に定住しているのかという歴史、課題を学ぶことができます。今回は、多文化共生に興味関心を持ち、実際に活動している大学生 2 名が同資料館の方に説明を受けながら、映像で館内をご案内します。

両大学生は、大泉町の歴史から学べる教訓を、現在と未来の多文化共生社会に活かしたいと思い現地で勉強して参りました。みなさまの地域と照らし合わせ、未来につながる課題を自分事として捉えて頂ければ幸いです。

多文化共生が当たり前の日本社会をいっしょに築いていきませんか？